



東京音楽大学附属民族音楽研究所刊行物リポジトリ

Title	東京音楽大学附属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(2)
Title in another language	Musical Instruments Housed at the Institute of Ethnomusicology, Tokyo College of Music (2)
Aithor(s)	小日向英俊 (KOBINATA Hidetoshi)
Citation	伝統と創造=Dento to Sozo, Vol. 4, p. 53-56
Issu date	2015-03-20
ISSN & ISSN-L	Print edition: ISSN 2189-2350, Online edition: ISSN 2189-2482, ISSN-L 2189-2350
URL	http://www.minken1975.com/publication/IE_B04201405.pdf

東京音楽大学附属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介 (2)¹

Musical Instruments Housed at the Institute of Ethnomusicology, Tokyo College of Music (2)

小日向英俊 KOBINATA Hidetoshi

本稿は、本学附属民族音楽研究所が収蔵する楽器コレクションの一部を紹介するシリーズの2回目である。具体的な楽器・音具を見ることにより地球上の様々な地域の音楽への関心を高め、さらに音楽教育全般と世界音楽教育に不可欠な資料として活用する目的で情報提供を行う。

キーワード：楽器学 Organology、楽器コレクション Collection of musical instruments、音具 Sound instruments、楽器資料の教育資源化 Utilization of musical instrument information in education、東京音楽大学附属民族音楽研究所 Institute of Ethnomusicology Tokyo College of Music

1. はじめに

本稿は、東京音楽大学附属民族音楽研究所が現在まで収集した楽器の概要を継続的に紹介するシリーズの2回目である。掲載楽器の製造・使用地域、楽器の構造については、表1のとおりである。紙面の都合により、体鳴楽器1点、弦鳴楽器1点、気鳴楽器1点の計3点のみを掲載する。また、各楽器に関する文献および視聴覚資料を、国内で入手可能なものを優先して「2 参考文献」に掲載した。シリーズ(1)と同様に、楽器の博物館とコレクション国際委員会(CIMCIM)による楽器分類表の最新改訂状況を極力反映させるとともに接尾番号セットも利用する²。

1.1 体鳴楽器

膜や弦を張ることなく、その個性と弾力性により振動し音を発する物体を音源とする音具³。



1. カルタール

L. 138, W. 68, D. 20 (mm)

名称言語：ヒンディー語など

製造国：インド

製造年：不明

説明：南アジア全域で木製のクラッパーを表す用語であり、111.11(相互打奏棒)の形態が一般的。本資料は、演奏のために制作されたものではない可能性がある。

1.2 弦鳴楽器

固定点の間に、単数のまたは複数の弦を張り渡した音具⁴。



2. 大正琴

L. 694, W. 32, D. 69 (mm)

名称言語：日本語

製造国：日本（株式会社鈴木楽器製作所製）

製造年：不明

説明：大正時代初期に、名古屋の月琴奏者森田吾郎が二弦琴をもとに考案。左手でボタンを押して弦の振動長を変化させながら、右手の義甲で撥弦する。東南アジアや南アジアにも移入され、現地の楽器として使用されている。

1.3 気鳴楽器

空気自体が振動源となる音具。主要振動源としてのリードの周囲の空気流により音を出すリード楽器も含む。



3. ショーファル

L. 235 (mm)

名称言語：ヘブライ語

製造国：イスラエル

製造年：不明

説明：旧訳聖書にも雄羊の角笛 Ram's horn として記載がある。現在でも使用されるユダヤ人の伝統楽器。角に熱を加えて整形する。

2. 参考文献

凡例：以下の省略記号を利用する。

NGDMI = Sadie, Stanley, ed. 1997. *The New Grove Dictionary of Musical Instruments*. (First edition: 1984). London.

NGSODJ = Sadie, Stanley 他編. 1995. *ニューグロヴ世界音楽大事典*. 講談社.

2.1 楽器・楽器学全般に関する文献⁵

CIMCIM.

- 2011 Revision of the Hornbostel-Sachs Classification of Musical Instruments by the MIMO Consortium.
http://network.icom.museum/fileadmin/user_upload/minisites/cimcim/documents/H-S_20classification_20final_20version_20_282013_29_20without_20editorial_20markings-2.pdf (アクセス日：2015年1月5日).

Hornbostel, E. M.

- 1995 ホルンボステルと C. ザックスによる楽器分類表(「楽器の分類」資料)(田島みどり訳). NGSODJ. Vol. 4, p. 565-577.
 小日向, 英俊編.
 2014 東京音楽大学附属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(1). ライブラリーレポート. Vol. 1, p. 2-19.

2.2 個別楽器に関する文献と視聴覚資料

1. カルタール (Kartāl) :

Dick, Alastair.

- 1997 Kartāl. NGDMI. Vol. 2, p. 361-362.

N/A.

- 1992 カルタール・ソロ. 世界民族音楽大集成 27 : パキスタン、アフガニスタンの音楽. Seven Seas. (CD 番号 : KICC 5527、演奏時間 : 10:08).

2. 大正琴 (Taisho-goto, or Taisho-kin) :

千葉, 潤之介.

- 1995 大正琴 taishōgoto, taishōkin. NGSODJ. Vol. 10, p. 171.

金子, 敦子.

- 1995 大正琴の世界. 大正琴協会.

金子, 敦子監修.

- 2003 大正琴図鑑. 全音楽譜出版社.

- 2011 大正琴資料図録 : 博物館・資料館等の所蔵品による. 大正琴協会.

Schechter, John M.

- 1997 Taishō-goto. NGDMI. Vol. 3, p. 502.

吉岡, 錦正および錦正流一門会.

- 1992 大正琴名曲選. キングレコード. (CD 番号 : KICX 262、録音時間 : 67 分).

3. ショーフアル (Shofar)⁶

Montagu, Jeremy.

- 1995 ショーフアル. (水野信男訳). NGSODJ. Vol. 8, p. 569-570.

- 1997 Shofar. NGDMI. Vol. 3, p. 376.

N/A.

- 2004 Liturgies juives. Le chant du monde. (CD 番号 : Le chant du monde : LDC 2781138).

2.3 その他の参考文献：

United Nations Statistics Division.

2013 Countries or areas, codes and abbreviations. United Nations Statistics Division.
<http://unstats.un.org/unsd/methods/m49/m49alpha.htm> (2013年11月6更新)
 (アクセス日：2015年1月10日).

3. 付録：楽器一覧に使用したHS楽器分類番号の詳細

- 111.12 直接相互打奏楽器：相互打奏板。
 314.122-8 共鳴器付き（箱型）ツィター：キーボード有り
 432.111.1 気鳴楽器：本来の吹奏楽器：自然トランペット：ほら貝型トランペット：上
 端吹き：マウスピースなし⁷

表1：掲載楽器一覧⁸

No.	楽器名	HS番号 ⁽¹⁾	地域	国名(生産地)	登録番号	購入日
01	カルタール Kartāl	111.12 ⁽²⁾	南アジア	034 インド IND	24	1995/03/27
02	大正琴 Taishō-goto	314.122-8	東アジア	030 日本 JPN	15	不明
03	ショーファー ⁽³⁾ Shofar	432.111.1	西アジア	145 イスラエル ISR	52	1999/03/25

⁽¹⁾ 該当番号の詳細については、付録「楽器一覧に使用したHS番号の詳細」を参照。

⁽²⁾ 111.12の相互打奏板とするが、厚みは板とするには比較的厚い。

⁽³⁾ 研究所登録名は「ショーファー」だが、本文説明ではNGSODJにより「ショーファル」を使用。

註：

- 1 本シリーズ(1)は、小日向2014。
- 2 用語については、Hornbostel and Sachs 1995とCIMCIM 2011を参考にした。更新状況についてはCIMCIM 2011を見よ。
- 3 本シリーズ(1)の定義により「楽器」の上位概念である「音具」を使う。小日向2014:5を見よ。
- 4 定義詳細については、小日向2014:7-8を見よ。
- 5 本シリーズ(1)に掲載した楽器・楽器学全般に関する文献と視聴覚資料については、ここでは重複しない。小日向2014を見よ。
- 6 日本語表記については、表1内の註⁽³⁾を見よ。
- 7 セファルディム(イスラエル・欧州南部・地中海周辺のユダヤ人)のものは吹き口を整形する例が多く、アシュケナージム(欧州北・中部のユダヤ人)のものは、吹き口を整形しないため不規則な形の例がある。Montagu 1995を見よ。
- 8 掲載する地域名と国名は、国連統計部が発表する地域名および国名とその3桁コードとアルファベット3文字のISO ALPHA-3コードに基づく。United Nations Statistics Division 2013を見よ。

(本学講師、音楽学、民族音楽研究所)